

令和6年3月4日

保護者 各位

岡山県立岡山南支援学校
校長 木村 泰清

令和5年度 学校自己評価アンケートについて

萌芽の候、保護者の皆様には本校教育推進のために、いつも変わらぬ温かな御理解と御支援をいただき、深く感謝申し上げます。

今年度実施しました学校自己評価アンケートにつきましては、御多用の中、御協力いただきありがとうございました。アンケートの結果をもとに、校内で分析・考察した上で、学校関係者評価委員会において、外部委員の皆様から御意見をいただきました。この会議の資料及び議事録につきましては、本校ホームページに詳しく掲載しておりますので、御確認ください。

保護者の皆様からのアンケート結果を次のとおりまとめましたので、お知らせいたします。なお、アンケート結果の分析についても、ホームページに詳しく掲載しておりますので、御確認ください。

記

1 全体の概要

保護者の皆様からの回収率は、84.5%と大変高く、アンケートで実施した22項目全てにおいて、「よくあてはまる」又は「ややあてはまる」と回答された割合が90%を超えており、全体的には高い評価をいただきました。

2 特に高い評価だった項目

「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が98%以上だった項目は次のとおりです。

7 学校は、お子さまのプライバシーや個人情報の保護に努めている。(99.6%)
16 「個別の指導計画(「学習の記録」)」の目標には、お子さまの実態と保護者の教育的ニーズが反映されている。(98.6%)
17 「個別の指導計画(「学習の記録」)」には、指導の経過や、今後の課題などがわかりやすく示されている。(98.2%)

引き続き高い評価がいただけるように取り組んでまいります。

3 比較的低い評価だった項目

「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が90%未満の項目はありませんでしたが、94.5%以下の項目は次のとおりです。

1 お子さまは、楽しく学校生活を送っていると感じる。(93.4%)
13 学校は、居住地校交流や学校間交流などの交流及び共同学習や公民館活動への参加など、地域とつながりながら学習できる機会を積極的に設けている。(93.4%)
14 学校は、お子さまを取り巻く関係機関(福祉、医療、就労など)と連携を取りながらサポートしている。(94.3%)

それぞれの項目において、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を選ばれた理由については、自由記述欄に記入していただき、御意見を参考にして考察しました。項目1については、個々に理由はありますが、大きな課題として真摯に受けとめ、一人一人の児童生徒にとって楽しい学校づくりに努めていきます。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用や関係機関とも連携して、さらに支援体制を充実させていきたいと考えています。項目13については、「居住地校交流への保護者の引率が負担」「地域や他校との交流の回数が少ない」という理由が書かれていました。課題を分析して、コミュニティスクールの取組をさらに充実させ、地域とつながる機会を設けていきます。項目14については、「連携しているかどうかわからない」という理由があり、情報発信が不足していることがわかりました。今後は配付文書やメール、HP等を活用して情報を発信していきたいと考えます。

4 全体に関わって、保護者の皆様からいただいた御意見について(抜粋)

・居住地校交流は保護者がついて、保護者が行かなくても参加できるようにしてほしい。仕事をしていると、参観日や通院で休みを取るの付添は難しい。

居住地校交流については、保護者の方に一緒に参加していただくことも目的の一つと考えていますが、保護者の方の負担も含めた課題については、今後、県教育委員会とも相談していきたいと考えています。

・あまりICT機器を使っていると聞いたことがない。

授業では、調べ学習や学習の記録を残すためにICT機器を使用しています。生徒同士の話し合い活動の時に、自分の好きなものや気になったこと等を画像で示して自分の思いを伝える一助としても活用します。学習アプリを使用して個別課題に取り組んだり、実態に合わせてコミュニケーションツールの1つとしてVOCAアプリを用いて意思表示ツールとして活用したりすることもあります。今後も指導方法を工夫し、学習効果を高め活用する機会をこれまで以上に増やし、保護者の方にも活動の様子をお知らせしていきたいと思えます。

・教員と子供との間に信頼関係ができにくくなっているように思える。子供が本心を言えずにいる。どんなに些細な事でも言える、聞いてあげられる、寄り添った教育を心がけてほしい。

貴重な御意見ありがとうございます。日頃から児童生徒との信頼関係が築けるような、言葉掛けや関わりを大切にしたいと思っています。さらに、定期的に教育相談の時間を設定することで、少しでも悩みや不安を打ち明けられたらと考えています。担任団だけでなく、必要に応じて学年外教員も対応できるようにしています。

・学年の違う生徒同士のトラブルの解決に時間がかかり過ぎると感じます。人間関係の悩みは尽きないと思いますが、謝ったり相手の気持ちを知ったりした上で、その後の対策法としてやっぱりこの人とは上手く関われないと感じた時に(SNSの)ブロックという手段をとるべきだと思えます。

トラブルへの対応では、関係生徒から慎重に事情を聞き取り、職員で情報を共有して、必要に応じて個別指導、全体指導をしていきます。SNS等でのトラブルについては警察等、関係機関の協力を得ながら定期的、段階的に学習できるようにしています。保護者の方とも合意形成のもと、指導をしてい

きますので御協力をお願いします。

- ・卒業アルバムの検討を今一度お願いします。保護者間でも生徒間でも納得がいくものになっていないように感じます。

本校における写真の取扱いについては入学説明会や学校全体のお便りでもお伝えしています。卒業アルバムの作成については、業者を調べたり校内で検討したりしましたが、肖像権の関係や作成に伴う費用面等検討を重ねた結果、本校での作成は難しいと判断しています。行事等の様子につきましては、学年通信等に掲載させてもらっています。

- ・地域や他校と交流を、年間を通してあまり行われていないように思います。
- ・バザーなど文化的な活動も年々と簡素化されていると感じています。地域との交流の一つでもあり、将来の社会参加の一つの取組としてとらえてほしいと感じています。

バザーについての地域の方々への参加の呼びかけについては、各部で検討しているところですが、現在のバザーの様子では、接客や商品の準備等で、保護者の方々の参加に限定した活動が適切と考えています。バザーの日以外に、地域へ出ていく販売活動や、地域の方々に来ていただく販売活動などを今後取り入れていくことも検討していきます。以前に比べて地域とつながる活動は増えてきていますが、発信不足の面もあると思いますので、今後はさらに地域とつながる活動を広げていくとともに、取組についての発信も充実させていきたいと思っています。

この他にも、「いつも温かい御指導を頂き感謝しています」「いろいろなことができるようになり、理解力も少しずつ伸びていると感じています」「たくさんの先生方と、守られた環境下で、その子らしく生きていけることに、親子ともに幸せを感じています」「本人がとても楽しそうに通えて先生方には感謝です」「子供に対して、どんな対応が良いのかいつも考えてくださり、感謝しています」「毎日の連絡帳に一日の様子が書いてあって、よくわかりますます」など、たくさんの嬉しい感想をいただきました。教職員一同、励みとさせていただきます。この紙面で全ての御意見に一つずつ回答することはできませんが、どの御意見も真摯に受け止め、今後の学校経営に生かして、よりよい学校となるように励んでまいります。今後とも本校教育の充実に、御理解と御協力をいただきますよう、お願いいたします。